

海の安全レポート

第七管区海上保安本部 海の安全推進本部
TEL093-331-6395(交通部安全対策課)

第221号 令和7年8月号



BACKNUMBER(二次元コードは右側をご利用ください。)

https://www.kaiho.mlit.go.jp/07kanku/gyoumu/kyunan/marine_anzen_report/

NO MORE 海難事故

事事故例

令和7年7月に七管区内で発生した海難事故

悲しいことに、今年の夏も海でのマリンレジャー中の事故が多く発生しています。遊泳中やSUP、ミニボート等の遊びで亡くなったという悲しいことにならないよう、常に安全意識を高く持ち「自分自身や大切な人の命はどうやったら守れるのか」を考えてみましょう。



ミニボート転覆・行方不明

7月20日、2名乗船の上、ミニボートで出港。その後、転覆し乗船者2名が行方不明となった。

捜索によりミニボートは発見されたが、乗船者2名は未だ発見されていない。
強風注意報発表中。



フロート遊具に乗った子供が漂流

7月26日、海岸で父子・友人で遊んでいたところ、**亀型**のフロート遊具に乗った子供が風により沖に向かって流されてしまい、付近の水上オートバイに救助された。

強風注意報発表中、ライフジャケット未着用。子供から離れない+目を離さない。



父子でSUP中、子供が漂流

7月30日、SUPでの釣り中に父がパドルを落としてしまい、父が入水してパドルを取りに行ったところ、SUPと子供が流されてしまい追いつけなくなった。**リーシュコード未使用、2名ともライフジャケット未着用。**

※リーシュコード(ボードと足を繋ぎ、ボードの流出を防ぐためのもの)

好事例

自己救命策(連絡手段の確保)により速やかに救助された事例



防水パック入り携帯電話

7月24日、姉弟で海水浴場を訪れ、弟は砂浜で日光浴をし、姉は遊泳をしていたところ、風の影響で足の付かない沖合まで流されてしまい、自力で砂浜に戻ろうとしたが、風が強くなり戻ることができなかった。そこで身に着けていた**防水パック入りの携帯電話**を使い、日光浴中の弟に電話で助けを求め、電話を受けた弟が118番通報。その後、救助されました。

海はプールと違い、潮の流れや風の影響を受け、簡単に流されてしまいます。本事例では、幸いにも**防水パック入りの携帯電話**を所持していたことで**直ぐに救助を呼ぶことができましたが、**もし連絡手段が無ければ、そのまま流され**溺水**していた可能性があります。



詳しくはウォーターセーフティーガイドを確認／



Water Safety Guide

